

自治体支援フォーラム 結果報告（概要）

開催概要

- ・日時：平成29年2月21日(火)10:30～15:00
- ・場所：富士ゼロックス（株）お客様共創ラボラトリー
- ・出席者：69名(国交省、実行委員、自治体、民間企業等)



プレゼンの様子



班別討議の様子

結果概要

・自治体側から4つのテーマ（インフラメンテナンスの課題や取組）についてのプレゼンを行い、質疑応答と班別討議を行い、今後の国民会議の活動の方向を模索した。テーマ毎のとりまとめ結果は以下のとおり。

「テーマ① 自治体における技術者育成」

・公園の遊具や樹木の維持管理サイクルの確立が課題であり、これらの劣化や腐朽の診断技術の技術力向上が課題。また、国民会議では、自治体が技術者を育成したい技術領域を明確にし、各自治体の課題やニーズ、取組、会員の持つソリューションをまとめ、議論を深めていくこととなった。

「テーマ② 県有建築物の劣化診断調査」

・建築物では劣化や危険箇所の把握が中心だったが、今後は対応の優先順位や中期的な修繕計画をいかに自治体の建築部局が立案する体制を作っていくかが課題。今後革新的技術フォーラム等で建築物を課題として取り扱うこととなった。

「テーマ③ ちばレポを活用したメンテナンスへの市民参画」

・千葉市がちばレポで今日まで行ってきた取組について、質疑応答により理解を深めた。今後の市民参画フォーラム等における市民参画のきっかけづくりの活動において、千葉市の取組を紹介させていただくなど、連携を深めていくこととなった。

「テーマ④ 自治体における包括的民間委託の取組紹介」

・国土交通省が開催する勉強会の検討状況を紹介した。包括的民間委託の円滑な制度運用の確立に向けて、今後も国民会議を通じて勉強会についての情報提供を行うこととなった。

第1回自治体支援フォーラムにおいて実施した試行的な取り組み

- インターネット動画配信や情報共有システム・付箋システムといったICTツールを活用することにより、遠隔地の自治体や民間企業がフォーラムに参加する取り組みを実施。
- 会場における発表や議論の様子が遠隔地で理解でき、質問や意見を投稿することが可能となり、会場の議論は活発化。



動画配信

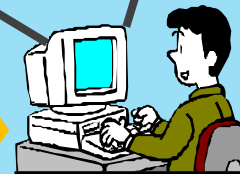
付箋システムでのまとめ



配信動画のイメージ



閲覧



遠隔地の自治体・企業など



タブレットから意見を投稿

質問や意見投稿

発表者等からの回答

まとめ
抜粋

質問や意見投稿

発表者等からの回答

A社 ちばレポの情報精度の担保の方法は？

事務局 住所、氏名、年齢を必須登録としており、迷惑投稿はありません。

情報共有システムでの質疑応答イメージ



班別討議等

質問や意見の集約

フォーラム会場

